

# Science and Technology English I II

## Day 1 “Domain” Meiji University

Sci-Tech-Focus.pptx 10 Slides May 4<sup>th</sup>, 2019

---

<http://mikami.a.la9.jp/mdc/mdc1.htm>

## Renji Mikami

Renji\_Mikami(at\_mark)nifty.com [mikami(at\_mark)meiji.ac.jp]

# Domain Focus

- 実戦的な英語とは – 自分の経験を交えて
- 英語と言ってもいろいろ(日本語もいろいろ)
- 英語(や数学)の苦手意識のある人へ
- 英語コミュニケーションの始めかた
- 文化と言語
- 4つのドメインと“仕事”の英語
- 目指すところ
- 英文をそのまま理解

# 英語(や数学)の苦手意識のある人へ

- 慣れること – リラックスして、身構えない
  - 読んでわからないところは、受け流して次に進む(止まらない)
  - もういちど読んでみる、時間をおいて繰り返す
- 話し言葉と書き言葉の違いを意識する
- 英文をそのまま(英語のまま)理解することを意識しよう
- **実践**的に使うことで英語は上達する。(Plan-**Do**-See)
- **反復**はさらに効果的。(Brain System)

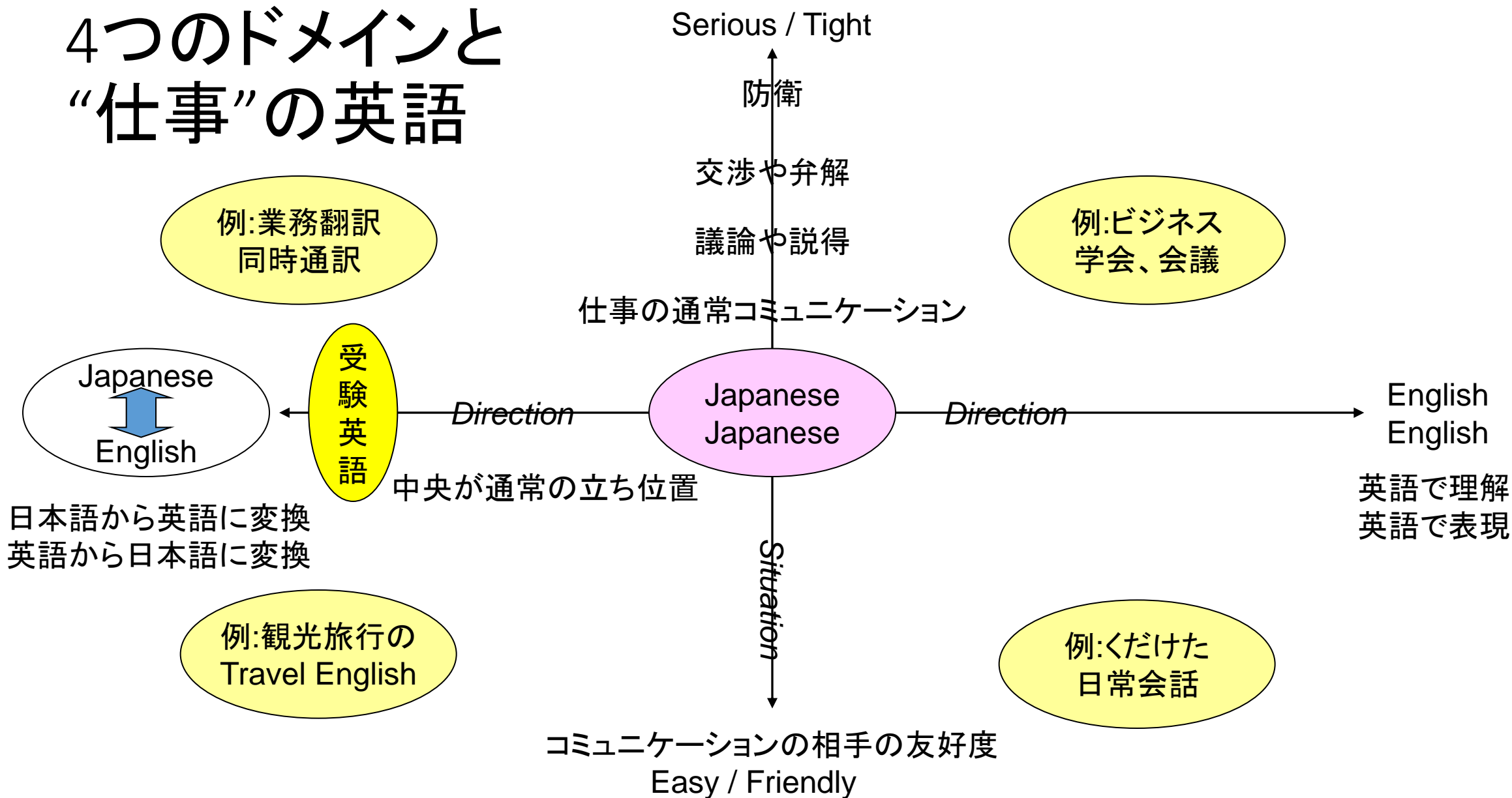
# 英語コミュニケーションの始めかた

- Reading とWriting, Listening とSpeaking について
- **Hesitateしない**、わかったふりをしない
- 分からないことはわかるまで**聞き返す**、わかったら確認する
  - You mean + 自分の言葉での反復
- 聞き返しても失礼にあたらぬ。
  - 教養ある人は言葉を選んでわかるように話してくれる
- 相手は、こちらのレベルに合わせて話してくれる。(友好的なケース)
- 流暢で上手な発音で話せると困ることもある。
  - 通じると思われてくれた英語表現で話されるとギブアップ
- 発音が下手でも**論理的**で正しい文法で

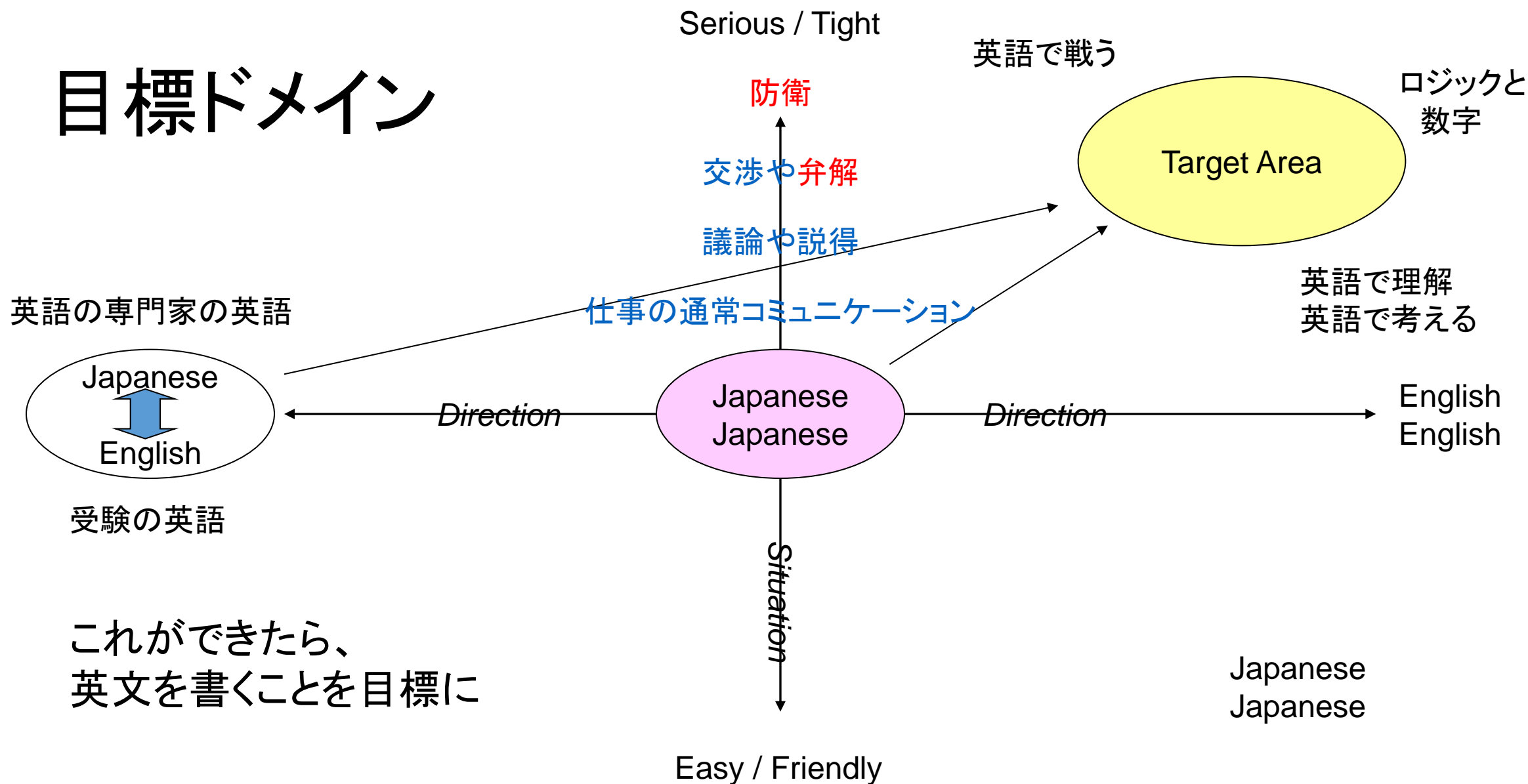
# 文化と言語

- 言語(英語/日本語)はコミュニケーションのツールである
- コミュニケーションは、文化的背景から成り立つ
- コミュニケーションには相手がある
- 友好的でない相手、異なる文化背景の相手とのコミュニケーションは難しい
  - **ロジック**がカギ
- 日本語文化と日本語の特徴 (単一民族、文末決定型文法)
  - 空気を読む能力、周りから叙述していき結論の類推に導く
- 世界標準は、多民族、多様な文化、**結論が先**、あとで説明や修飾
  - 主語 + 動詞 + .....

# 4つのドメインと “仕事”の英語



# 目標ドメイン

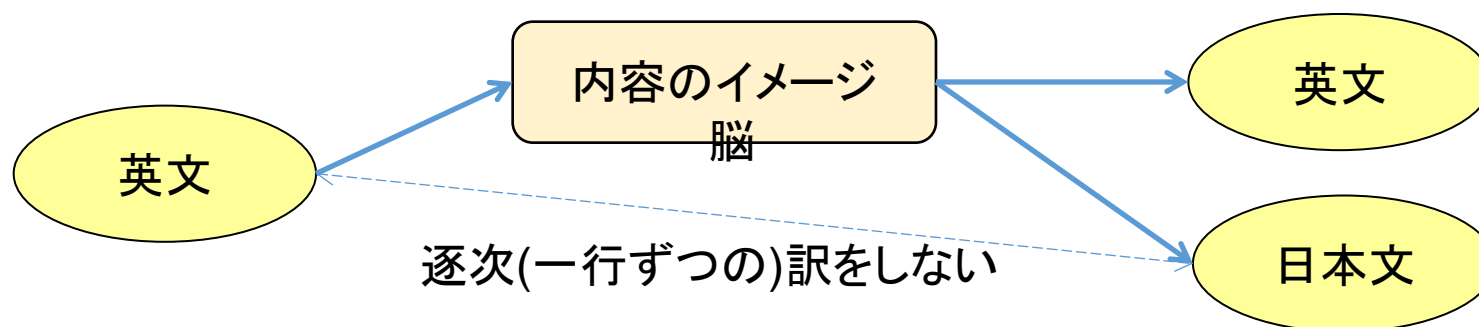


これができたら、  
英文を書くことを目標に

Japanese  
Japanese

# 英文をそのまま理解

- テクニカル タームを無理に日本語に訳さなくてもよい
- 英語のニュアンスを正確に伝える日本語がなければ、英単語のままでもよい
- 英語をそのまま理解し、英語のまま考え、英語でそのまま書く  
いちいち日本語に訳し、日本語で考えて、それをまた英訳しない





# 英文(論文,社内文書)を書くときのポイント

- 間違えてはいけないもの(誰からでも指摘される)
  - 数字、固有名詞、スペルミス(誤字脱字)
- 明確な結論とそれに至る論理的な解説、定量的思考
- 簡潔な表現と正しい文法
  - 書き言葉を使うこと
  - 論文や仕様書の書き方から学ぶ
  - まず自分の書いた文に不自然さを感じるようになればよい
  - 続いて、複数の表現からどちらが適切かを選べるようになればよい

# Memo

フォローアップURL

<http://mikami.a.la9.jp/meiji/MEIJI.HTM>

担当講師

三上廉司(みかみれんじ)

Renji\_Mikami(at\_mark)nifty.com

mikami(at\_mark)meiji.ac.jp (Alternative)

[http://mikami.a.la9.jp/\\_edu.htm](http://mikami.a.la9.jp/_edu.htm)

